

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 3月1日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 0 2 0 3 6 2 5
法人名	医療法人 和同会
事業所名	西広島 グループホーム
所在地	広島市西区田方2丁目16番45号 (電 話) 082 - 274 - 1322
評価機関名	特定非営利活動法人西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年2月27日

【情報提供票より】(20年 2月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14 年 12 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤 12 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 6.9 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋鉄骨 コンクリート 造り 9 階建ての 2 階 ~ 階部分
------	------------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 入居金 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,500 円		

(4) 利用者の概要(2月 10日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	8 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 89.4 歳	最低	65 歳	最高	102 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	広島パークヒル病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

西広島グループホームは「なごみの家」の名称のごとく、いつも笑顔で和みのファミリーとして、ふれあいを大切にしている。又、病院や老人保健施設等に併設しているので、利用者や家族にとっては安心といえよう。加えて広々とした空間を有効活用され、ゆったりとゆとりある暮らしが感じられる。ホーム長はじめ、スタッフの笑顔に支えられ、利用者との対話の時間を大切にされている様子が伺える、アットホームなホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	特に地元地域との交流に取り組み、祭りや敬老会等にも積極的に参加されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	週末の土、日には、外出・希望者に対してしっかりと対応している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回開催されており、入居者、家族、町内会長、老人クラブ会長、地域包括支援センター職員等により、いかに地域と交流することでホームを理解してもらい、ホームの役割、取り組みを周知させる機会である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱が設置してあるが、面会等で直接、家族より相談や意見を聞くことが多く、対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者は、町内会に加入しており、地域の行事に参加して交流を深めている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は「笑顔で安心...和みのファミリー」ホーム内に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念と共に基本方針を掲げ、日々取り組んでいる。		理念と方針は、カードにしてスタッフ全員が持っている。職員は常に立ち戻る原点として、心に置いている。
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者一人ひとりが町内会に加入しており、夏祭りや敬老会等の行事に参加して交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者の取り組みがスタッフに反映していて、穏やかで和やかな雰囲気がある		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に利用者の家族、町内会長、老人クラブ会長、地域包括支援センターの職員が参加して報告、情報交換、話し合いの場としている。		運営推進会議に利用者の家族の参加が毎回10名以上あり、積極的に取り組んでおられる姿勢が見られる。

西広島 グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今後の課題とする。		市町村担当者に事業所の考え方や現場の実情を伝える機会をもち、積極的に係わっていくことを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族アンケートにも、本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等の報告がよくある旨が答えられている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱が設置されている。家族が気軽に声をかけやすい雰囲気がある。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同系列の事業所に異動があったり退職等があった時には引き継ぎ等に配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体医療機関内での研修には毎回参加している。又、外部研修を受けた後は伝達研修にて共有している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの交流会にて、情報交換をすることで質の向上を目指している。		同系列内で月一回、会議を開催されていて、その中でグループホームのスタッフ同士の交流を検討中である。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気や徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	早く慣れてもらう為、他の利用者とのふれあいや家族には面会の頻度を多くしてもらう取り組みがある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者との関わりの中で一方的な関係にならない様に、職員はよく受け止め、共に味わう関係にある。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者の思いや希望を聞き取り検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	定期的にカンファレンスを行ない、そこに家族の参加があり、意見を反映させている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3～6ヶ月で見直しをしているが、変化があった場合にはその都度、見直しを行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同系の通所ケアの理学療法士等からのアドバイスを受けている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院が併設ということで、常にかかりつけ医の元で適切時に適切な医療を受けている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の際、ホーム利用中、重度化した場合の指針について家族とよく話し合っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりのプライバシーを守り、尊厳と自立を支えとの方針を常に心に置いて実践している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の方の思いを優先して、希望に沿うように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ食事は、利用者の方とスタッフが一緒になって準備をすすめている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には曜日は決めてあるが、時間は希望に沿って行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの状況に合わせて役割があり、楽しみながらできるように支援している。		男性の利用者の方も、全員のお茶をポットから注ぎ分けていて、微笑ましかった。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週の内、火・木・土は買い物、土・日はドライブと決めて外出支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、避難訓練を行なっている。		

西広島 グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握して、その方に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い居間には季節のものが飾っており、玄関等も利用者の作品等があり、工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や廊下にはソファや椅子が設置してあり、居心地がよく、利用されている。		